

事業名	「ずくだせ 伐りだせ 使いだせ」林地残材活用推進プロジェクト
事業主体・事業費	売木村（補助対象事業費： 1, 996千円 補助金： 1, 430千円）
協力団体	うるぎ焚きもんくらぶ（任意団体）
事業の概要	<p>若者を中心とする村内在住者からなる任意団体を立上げ、森林整備後の林地に残った残材から薪を作り、村内で消費する仕組みを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 林地残材の買い上げ及び安全かつ安定的に薪を生産する仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ① 活動団体の結成（うるぎ焚きもんくらぶの結成：2020.4.1） ② 森林整備を実施した個所の情報共有（売木村岩倉地区より支障木の搬出：2020.11.1） ③ 地域通貨等、林地残材を買い上げる仕組みの検討 ④ 「薪ステーション」立上げのための事前調査 ⑤ 先進事例地への視察（売木村 小林建築にて、薪の活用事例を視察：2021.1.11 出席者5名） ⑥ 人材開発及び技術の向上（安全講習会の実施：2021.1.11 出席者5名） ✓ 薪生産に必要な機材の購入 <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 薪プロセッサの導入（2020.12.1） ⑧ ポータブルウインチの導入（2020.12.1） ✓ 取組の普及啓発及び活動報告に必要な物品の製作・購入 <ul style="list-style-type: none"> ⑨ 普及啓発の実施（売木村内において、活動報告会を実施：2021.1.16 参加者30名）
薪流通システム解説	<ol style="list-style-type: none"> 1 薪を流通させるための活動団体(うるぎ焚きもんくらぶ)を結成する。 2 森林整備後に発生した林地残材を搬出し、薪として加工する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 林地残材を地域通貨を活用して、森林所有者から買い取る仕組みを構築する。 ・ 森林所有者自ら、材を持ち込むことも可能。 3 うるぎ焚きもんくらぶが、加工した薪を村内の薪ユーザーへ運搬。 4 村内のキャンプ場、薪ストーブユーザー等に販売を行う。
事業の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 林地残材を活用し買い取ることで、里山整備の促進を図る。 2 薪づくりを通じて、村内の若手が山林へ入る（興味を持つ）きっかけをつくる。 3 村内の材が、村内で流通する仕組みを構築し、木質エネルギーの地産地消を目指すきっかけとなる。
事業成果、良かった点、反省点 今後の改善点など	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 村内の若手が山林に入るきっかけとなり、里山整備の担い手となるきっかけづくりができた。 ✓ 村内において、“薪が足りない”、“薪を安く調達したい”等の要望に応えることができた。 ✓ 新型コロナウイルスの影響もあり、本プロジェクトのPRが思うようにできなかった。 ✓ 地域通貨による林地残材等の買い上げを、令和3年度より実施していきたい。 ✓ 林地残材だけでなく、薪生産用の森林整備を森林所有者も巻き込んで実施していきたい。



林地残材に経済的な価値を付加できないか？
 ⇒ 木材価格の低下へのアプローチ
 ⇒ 景観保全へのアプローチ 等

[森林組合・林業事業体]
 ・ 森林整備（搬出間伐・伐り捨て間伐等）

林地残材（捨てられた資源）の発生

「ずくだせ 伐りだせ 使いだせ」林地残材活用プロジェクトイメージ

[売木村役場（行政）]

- ・ 伐採情報の共有
- ・ 地域通貨制度の整備

[森林所有者]

- ・ 林地残材の提供
- ・ 地域通貨の利用

地域通貨



地域通貨として、村内で利用

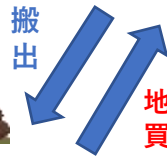
[薪ユーザ]

- ・ 薪ストーブ、薪ボイラー
- ・ キャンプ場
- ・ 公共施設への利用促進

情報共有



搬出



地域通貨で買取

[任意団体：うるぎ焚きもんくらぶ]

- ・ 林地残材の搬出
- ・ 薪づくり及び販売
- ・ 地域通貨活用の運用
- ・ 新生産のための森林整備

新生産



薪の販売及び活用



活動報告



活動団体（うるぎ焚きもんくらぶ）の結成



安全講習会の実施



林地残材の搬出



先進地視察（村内の薪利用について）



薪の販売



活動報告会、薪づくりの様子